

「いばらき県議会だより」による意見募集の結果について

1 意見件数等

- ・ 募集期間 平成24年7月8日(日)～平成24年7月21日(土)当日消印有効 (14日間)
 - ・ 意見の件数 14件
 - ・ 提出者数 5人 (郵送による提出 4人, 電子メールによる提出 1人)
- | | | | | |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 年代 : | 50代 1人 | 60代 2人 | 70代 1人 | 80代 1人 |
| 性別 : | 男性 5人 | 女性 0人 | | |

2 意見募集内容

- ① 県議会にどのようなことを期待しますか。
- ② 県議会への関心を深めていただくためには、どのような取り組みが有効だと思いますか。
- ③ 県民の代表である県議会議員にどのような活動を求めますか。

3 意見の概要

① 県議会にどのようなことを期待しますか		
1	本県独自の政策課題への取り組み	意見書で「北朝鮮の日本人拉致問題」, 「尖閣諸島」について採択されたが, これらは国の問題で茨城県議会が取り扱うべきべき問題ではないと思う。県議会の意見として取り扱うのは単なるパフォーマンスにしか見えない。もっと茨城県の政策課題にエネルギーを投入すべきではないか。
2	定数削減, 1人区の解消等	議員定数の削減により少数精鋭にすべきである。定数65は多すぎるのではないか。2名減案で, 議員給与の減額とセットにしているようだが, むしろ, 議員給与の総額は微減に止めるか現状維持とし, 議員1人当たりの支給額を増やし, 増額分は調査研究や政策立案に充当してはどうか。 県議選での1人区が多すぎる。定数1では死票が多くなり, 県民の意思が県政に十分伝わらないという欠点がある。選挙区を広くして複数定数とすることにより, 特定の会派が総定数の7割も占めるという異常事態を解消する必要があるのではないか。
② 県議会への関心を深めていただくためには、どのような取り組みが有効だと思いますか		
1	議員の資質向上による活発な議論の展開	インターネットでの議会中継など情報発信の手段を多角・多様化することも重要だが, その前にやるべきことがあるのではないか。それは見ていて, 聞いていて, おもしろい議会にすることである。 おもしろいといってもお笑い劇場に, というのではなく, 議員各自の資質を向上させ, 活発な議論を展開することで, 手に汗握る感覚を覚えさせる県議会にという意味である。 県民にとって関心のある議題が熱心に議論されれば, 自ずと県民の目が県議会に向いていくだろう。議事堂に陣取っていても, 地元で大名意識でいても県民は興味も関心も示さない。自ら選挙区内を「注文取り」に出向かなければ, 住民は口を開かないだろう。県民が県政に関心がないのではなく, 県民と県議または県議会との距離が遠いのである。

2	「いばらき県議会だより」の県民に分かり易い紙面編集	“いばらき県議会だより”は、“ひばり”に比べ、一般人にはなんとなく理解しにくい面があると思う。個々の議題について、議員からどのような質問や意見が出て、どのような答弁があり、どのような結論に達したかという筋書きで説明してはどうか。各議題について質疑応答の内容とその結論、つまり県政の施策にどのように反映されたのかについての報告が必要であると思う。この場合、質問や意見を述べた議員の氏名と出身地域（選挙区）も明記してはどうか。
③ 県民の代表である県議会議員にどのような活動を求めますか		
1	県民の立場に立った質問・質疑の実施	知事部局提案の議案を追認するだけの県議会になっていないか。県民の立場に立った鋭い質問、地に足のついた質問や審議を期待する。毎議会ごと知事提案の議案の修正をさせることもなく原案賛成にしていることはないか。ときに撤回を求めたり、修正提案するなりしているのか。
2	議員提案や政策立案等の積極的な実施	議員提案を積極的にされるよう求める。決議書や国などへの意見書・要望書などを除いて、現在、どの程度の本数の議員提案がなされているのか分からないが、地域県民の意をくみ取り、知事部局に要望するだけでなく自ら積極的に条例案などを提案して欲しい。その政策立案や調査研究のためには、議員定数の削減によって捻出された支出減に見合う額を議員各自に配分し、議員1人当たりの給与を増額したらよいのではないか。
3	地域に基盤を置いた党派活動の実施	どこの都道府県の議会でも同じだが、茨城県議会の党派・会派も国会議員とリンクした会派が結成されているようだ。県議会は茨城県のこと、茨城県民の幸福を考えた施策を検討する場である以上、国会政党にリンクした会派が存立されるのは少しおかしいのではないか。国家政党とリンクするよりも地域別の会派を作り、その地域の代表者として政治活動するのが妥当と考える。
4	議員の政治活動の積極的な広報等	県議会議員の後援会組織や団体に所属していない一般県民にとって、県政についての情報を得るには、県の広報誌、いばらき県議会だより、新聞、NHK水戸放送局のニュースなどしか手段がない。議員の中には、ご自分で広報誌を作成配付したり、県政報告会を開催したりされている方もおられると思うが、一般人には、当該議員の考え方や政治活動は、県議会議員の選挙時に選挙公報や街頭演説で聴取するしかない。ホームページには、議員の政見などが掲載されていると思うが、一般人にはとっては積極的にアクセスするようなメディアではない。 県政もしくは地域別でも構わないが、政策課題となっている事柄について、各議員がどのような考え方をしているのかを一覧できるメディアがあれば、各議員のアイデンティティが理解できると思う。例えば「茨城空港の将来計画」、「森林湖沼環境税」等のテーマについて、各議員にアンケートして一覧表にまとめれば、議員の政治活動の方向がある程度理解できるのではないか。
5	議員の調査活動の成果の公表	県議会議員定数と報酬月額削減が提案されており、現在の財政情勢下ではやむを得ないのかもしれないが、実現された場合に、議員活動のモチベーションが落ちたり、活動が制約されたりすることはないのか。また、低所得者層から県議会議員が出にくくならないか。 県議会だよりには、様々なテーマで調査活動のための視察が実施されているよう報告されているが、それらの視察活動は果たして本当に県政のために役立っているのか。県政の改善につながった事例などを報告して頂ければありがたい。県議会議員の視察行動にも、企業人と同様に視察結果を業務改善や政策立案に生かす責任と自覚が必要だと思う。報酬の他に県議会議員に許された政務調査費がいか程かは存じないが、視察や調査したことによる成果を公表すべき義務があると思う。

6	議員による積極的な政策立案の実施等	<p>国民のいろいろな生活指標(例：1人当たりの県民所得，健康寿命 等)の都道府県のランキングをマスコミがよく発表するが，茨城県でそれらの指標の中で自慢できるものがあるのか。</p> <p>これらのランキングを少しでも上げるとともに，将来の茨城県の姿をどのように描き，実現させる政策を推進させることも行政ばかりでなく県議会の大きな役割かと思う。農業従事者の高齢化をどうするか，科学技術や製造業をどうするのか，雇用の機会をつくり，納税人口を増加させる方策などについて，60余人の議員の方々の識見を取りまとめ政策に生かして頂きたい。</p> <p>県知事の行政行動をチェックすることも県会議員の任務の一つだが，茨城県の将来ビジョンを行政と一体となって作り上げ，県民に明るい目標を与えることも議員各位の基本的使命と考える。そのような使命を踏まえ，各議員が県民に分かる見解を述べ，議員活動を示す機会を作って頂きたいと思う。</p>
7	議員による定期的な報告会の実施等	<p>定期的選挙区での報告会を(実施すべき。その際)，地元選出議員と(併せて，)隣接(の選挙区の議員)，又は県南であれば県北など遠方の議員も参加して実施する(と良い)。</p> <p>(報告会において)インパクトの強いチラシや報告文を配布する。イラストや写真を多くし，文字を少なくするか，または文字を多くして詳細に説明したもの(が良い)。</p>
8	新聞折り込みの議員活動報告紙の工夫	<p>たまに地元選出議員の(県政報告の)チラシが新聞に折り込まれるが，インパクトの強いレイアウトを望む。(また，)新聞の都合であるが，民間の折り込みチラシの少ないときに入れると良い。</p>
9	議員の心構え	<p>どんなに良いことでも，一挙に事が成ることはまずあり得ず，また一挙に行えば必ずどこかにムリを生じる。辛抱強く，根気よく事を続けていく心構えが必要である。ともすれば辛抱の美德，根気的美徳が失われがちであるが，お互い謙虚に二省，三省したいものである。</p>
10	経済の活性化と福祉の向上に向けた議員活動	<p>今回，議会活動報酬の減額や定数削減案が(県議会改革等調査検討会議で)自民多数で決定した。経済状況を判断の結果であり非常に良いと思う。</p> <p>各党派が協力し合いカバンを持って営業マンになり工業製品や農産物を全国に世界に売り込み，発信し，経済を活性化させることである。</p> <p>他の県よりも，税収，財源を豊かにし，既に日本は超高齢化社会に入っているが，それらの対策として老人ホーム職員のバックアップ，視察の実施等々，是非，経済福祉の茨城県を目指していただきたい。</p>